

中村百音

## ストップモーションアニメの歴史的変化と新しい表現

### 要旨

本研究は、異なる年代でストップモーションアニメ（以下 SMA）がどのように利用され残り続けてきたのか、複数の作品の視聴によって分析したものである。

SMA とは、静止している物体を 1 コマずつ動かし撮影することで、動いているように見せる技術のことを言う。この技術は古くから利用され、特撮映画などでも利用されることもあった。しかし、コンピュータグラフィックス（以下 CG）の登場など、技術の発展により現代では利用されることも少なくなった。現代でも制作されている SMA 作品から、SMA の独特な表現が、テクノロジーが増えた現代でも映画制作における重要な技術として残り続けていると考えた。

研究で使用した 3 作品から、CG が無い時代での活用方法や、3D プリンターなどの現代技術を用いたテクノロジーとの融合による SMA の新たな形、そして CG で作られた SMA 風の映像など、時代の移り変わりの中で、現代技術も取り入れることで進化をしながら残り続けていることが分かった。

これらの結果から、SMA はテクノロジーを利用しながら進化して残り続けていると結論付けた。CG 技術と組み合わせた作品は、映画でのテクノロジーの進化も大きく体現していると言える。衰退しつつある技術であるが、根強い人気がある理由を分析することができた。